

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (地理的分野) 】

| 書名<br>項目  | 新編新しい社会 地理 ( 東京書籍 )   |
|---|---|
| 教育基本法、学校教育法の下<br>の学習指導要領に<br>おける教科の目<br>標とのかかわり | ○写真資料や地図、統計などから、基礎的・基本的な事項をおさえ、地域的特色を考察し、理解させるようにしている。<br>○「地理にアクセス」「地理スキル・アップ」などのコーナーを設定し、話題になっている地理的事象や各種資料の見方などを示し、地理的な見方や考え方を育成するようにしている。<br>○本時の学習課題が提示されているとともに、学習課題をふりかえり、学習課題に結び付く「深めよう」を掲載することで、地域的特色や課題をとらえられるようにしている。  |
| 特<br>内<br>容                                     | <b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b><br>○学習内容の見通し、展開、振り返りの流れを構造化し、理解できるように工夫している。<br>○「ワーク」では、学習に必要な技能の定着を確認できるようにしている。<br><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b><br>○各時間の振り返りとして、見開きごとに設けてある「確認」の課題を通して、学習内容やキーワード等を使い、自分の言葉でまとめる言語活動に取り組めるようにしている。<br><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b><br>○家庭学習を教科書でできるように、本文に記載された内容に対応する資料の「図番号」などを付記する工夫をしている。<br>○授業の導入においてキャラクターの吹き出しに読み取りの視点を示し、学習課題をよく把握して学習をすすめるように工夫している。<br><b>&lt;地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫&gt;</b><br>○「ためしてみよう」では、雨温図や分布図などと関連させながら資料を読み取り、地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫をしている。<br>○各地域の「学習テーマ」「追究テーマ」を示すことで、地理的な見方や考え方の基礎を培うようにしている。<br><b>&lt;我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫&gt;</b><br>○北方領土や竹島、尖閣諸島については「地理にアクセス」で、我が国固有の領土であることと、地形や気候、領土をめぐる問題の背景の一つである資源など、様々な角度から考察できるようにしている。<br>○「身近な地域の調査」では、複数の登場人物による生徒の目線にたった日常会話を通して、人々の実態や地域の思い、特色をとらえるように工夫されている。 |
| 色<br>資<br>料                                     | ○世界と日本の諸地域の学習について、地形の概観が分かる地図、その地方の地域的特色を表す主題図とグラフ、写真、雨温図が掲載されている。<br>○巻頭・巻末には世界の主要国の様子や農産物などの写真が掲載され、巻末資料として用語解説、世界の国々と都道府県の統計資料、索引が掲載されている。   |
| 表<br>記<br>・<br>表<br>現                           | ○文体はほぼ「ます。」で統一されている。重要語句は太字で示され、見開きごとに導入資料、学習課題、関連資料が掲載されている。<br>○地図やグラフなどの図表には、見分けやすい色を使用し、情報の種類が多い図表では、線の種類や太さを変えるなどの工夫をしている。<br>○「世界の諸地域」と「日本の諸地域」では、州・地方ごとに異なる色を設定し、ページの角を塗り分けて検索性の向上を図っている。  |
| 総<br>括  | 紙面はA B版である。単元には学習課題や学習テーマが明示されている。また、「確認」として、学習内容を再度考察し、自分の言葉でまとめることによって思考力や表現力を高めるコーナーが設けられている。本採択区の各市が推進している「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中接続」の観点から見ると、冒頭の見返しに小学校で学習した国を振り返る「この国はどこかな」を設け、第1章の世界地理の導入になるように構成していること、各章の導入に既習の用語や写真で振り返りをさせている。   |

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (地理的分野) 】

| 項目  | 書名   |  |
|---|--|--|
|   | 中学社会 地理 地域にまなぶ ( 教育出版 )  |  |
| 教育基本法、学校教育法の下<br>の学習指導要領に<br>おける教科の目<br>標とのかかわり | <ul style="list-style-type: none"><li>○見開きページの最初に地勢図や関連資料を提示し、最後に学習課題をまとめることにより、地域的特色を考察し、理解させるようにしている。</li><li>○全体を通して「習得—活用—探究」の考えを基に、地域構成、世界各地の生活の多様性、日本全体の大観、諸地域の地域的特色、調べ学習という構成になっており、学習内容や学習活動を段階的に発展、深化できるようにしている。</li><li>○「探究」にあたる調べ学習の部分として、「身近な地域の調査」では、地図の活用に関する基礎的な知識・技能を確かめながら、生徒が生活している地域の発展に努めようとする社会参画の視点を取り入れた学習が深まるようにしている。</li></ul>   |  |
| 特<br>色  | <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○各見開きページのはじめに学習課題を示し、「ふりかえる」のステップ1で学習内容の基礎的・基本的な知識を確認できるようにしている。</li><li>○「地理にアプローチ」では読図の仕方、地図の使い方、グラフの見方などの基礎的・基本的な技能を確認できるようにしている。</li></ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「ふりかえる」のステップ2で、説明や話し合いなどの言語活動を充実し、思考力等を高めようとしている。</li><li>○単元末に「学習のまとめと表現」を設け、字数制限のまとめをさせる課題を示し、表現力などを育成しようとしている。</li></ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○複数の登場人物のナビゲートにより、提示された学ぶときの観点や疑問点に沿って学習できるようにしている。</li><li>○生徒の興味・関心を広げるコラム「地理の窓」を設け、主体的な学習を促している。</li></ul> <p><b>&lt;地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「見てみよう」「読み解こう」で、地図やグラフから地理的事象を探求する際の地理的な見方や考え方の基礎を培うようにしている。</li></ul> <p><b>&lt;我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○我が国の領域を大観するための、宇宙からとらえた日本列島の見開き地図を提示している。その上で、北方領土などの位置や範囲を地図や写真で理解できるようにしている。</li><li>○「身近な地域の調査」では、生徒の目線にたったキャラクターの日常会話を通して、人々の実態や地域の思い、特色をとらえるように工夫されている。</li></ul> |  |
|   | 資 料  | <ul style="list-style-type: none"><li>○地勢図を提示するとともに、「日本の諸地域」の展開では、地勢図の周囲に各都市の雨温図を配置して関連して学習できるように工夫されている。</li><li>○巻頭に実物の点字を提示している。</li></ul>                      |
|   | 表記・表現  | <ul style="list-style-type: none"><li>○文体はほぼ「ます。」で統一されている。重要語句を太字のゴシック体で強調している。</li><li>○教科書本文に関連のある資料には通し番号が付され、学習上の便宜を図っている。</li><li>○全体に淡い色調で構成されている。</li></ul> |
| 総 括   | <p>学習課題の提示や写真資料・グラフなどの諸資料、作業学習により、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、「ふりかえる」で思考力・判断力・表現力の育成に資するようにしている。本採択区の各市が推進している「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中接続」の観点から見ると、第1章前の「地理にアプローチ」で、小学校で学習した読図の仕方、グラフの見方など資料活用の基礎的スキルを振り返る構成とし、円滑な地理学習へのスタートをさせようとしている。</p>   |  |

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (地理的分野) 】

| 項目  | 書名   |   |
|---|--|---|
|   | 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土 (帝国書院)   |   |
| 教育基本法、学校教育法の下<br>の学習指導要領に<br>おける教科の目<br>標とのかかわり | <p>○世界の諸地域・日本の諸地域の展開では、「各州(地方)で注目するテーマ」を切り口に、見通し・振り返りによって地域的特色を把握し、地理的な見方や考え方を養えるように構成されている。</p> <p>○地図やグラフの読み取り方や作り方、写真資料の読み取り方などの地理的技能の習得を着実にできるように「技能をみがく」コーナーを設けている。</p> <p>○日本各地域の伝統や文化を多く扱い、その学習を通して我が国や郷土を愛する心を育めるよう構成されている。同時に、他国のさまざまな文化にも目を向け、それらを尊重する態度を養えるよう配慮されている。</p> |   |
| 特色  | 内容   | <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○基礎的な語句を文章やイラストを交えた「解説」コーナーで補足している。</p> <p>○世界の諸地域において州ごとに、日本の諸地域において地方ごとに学習のまとめとして「学習をふりかえろう」コーナーを設け、ワーク形式で学習内容の基礎的事項を復習できるようにしている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○単元末に「確認しよう」「説明しよう」が設定され、学習内容を説明したり重要事項を箇条書きさせたりして思考力を育成できるように配慮されている。</p> <p>○「技能をみがく」では写真資料を見るときポイントや主題図の作り方などを、「やってみよう」では略地図の描き方などの技能を習得できるように配慮されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○各見開きでは、学習の導入として大きい写真資料が提示されている。学習でおさえるべき課題を「学習課題」で、学習のまとめを「確認しよう」で、知識を整理する言語活動を促す「説明しよう」の各コーナーにより、自ら考察し学べるように配列されている。</p> <p><b>&lt;地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫&gt;</b></p> <p>○分布図やグラフには「資料活用」が設定され、地理的な見方や考え方のポイントが明示されている。</p> <p>○共生・環境・防災という共通テーマのコラムにより、生活に結びついた地理的な見方や考え方の基礎を培うように工夫している。</p> <p><b>&lt;我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫&gt;</b></p> <p>○北方領土、竹島などが日本固有の領土であることを明記し、その位置を図や写真を用い説明し、日本の領域内に見られる問題を事実に基づいて説明している。</p> <p>○現地で暮らす人々の生活や仕事に関する具体的なエピソードが「声」として示され、地域の実態や人々の思い、特色をとらえるように工夫されている。</p> |
|   | 資料   | <p>○各地域の導入部となる見開きの1ページ目に、これから学習する地域の姿をイメージできるように観光地や文化、特色ある自然や産業などに関する写真が掲載されている。</p> <p>○写真資料を豊富に掲載するとともに、地域的特色を一望できるような横長型の写真も掲載している。</p> <p>○学習している地域に関するグラフにおいては、当該地域を色分けで強調している。</p>   |
|   | 表記・表現  | <p>○文体はほぼ「ます。」で統一されている。重要語句は太字のゴシック体で強調している。</p> <p>○グラフや地図などの資料はあまり模様などを入れず、配色のみで区別ができるように配慮され、折れ線グラフなどは形をはっきりさせるため、線を太く表示している。</p>  |
| 総括  | <p>各単元に「学習課題」が明示されているとともに、単元の終わりに「確認しよう」「説明しよう」により学習内容をまとめる活動が可能となっている。本採択区の各市が推進している「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中接続」の観点から見ると、巻頭に「この教科書の学習の仕方」を示し、各部の導入に大きな写真資料を掲載し、生徒の興味・関心を引き出し、学習に対する意欲の向上及び学習の見通しを持たせようとしている。</p>   |   |

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (地理的分野) 】

| 書名  | 項目   |  |
|---|--|--|
| 中学社会 地理的分野 ( 日本文教出版 )                           |  |  |
| 教育基本法、学校教育法の下<br>の学習指導要領に<br>おける教科の目<br>標とのかかわり | <ul style="list-style-type: none"><li>○世界の諸地域では州ごとに、日本の諸地域では地方ごとに学習テーマが設定され、各単元の「学習課題」と関連付けて学習することにより、地域的特色を考察し、理解させるようにしている。</li><li>○単元ごとに「学習課題」が提示され、各種資料を読み取ったり、考えさせたりすることにより、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。</li><li>○「地理+α」や「地域からのメッセージ」などの学習内容を掘り下げるコーナーや補充事例を通して、地域的特色や課題を捉えられるようにしている。</li></ul>   |  |
| 特<br>内<br>容                                     | <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○見開き内でポイントとなる用語を提示し、学習のまとめとして「Step」コーナーで習得すべき基礎的内容をワーク形式などで復習できる工夫をしている。</li></ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○単元末に「学習の確認と活用」が設けられており、学習したことを文章やイラスト、表などでまとめて思考力や表現力を育成する工夫をしている。</li></ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「地理プラスα」を設けて、生徒が興味・関心を高め主体的に学習に取り組むように工夫している。</li><li>○本文に関連する図版番号を付して、本文と図版資料との関連が図られ、生徒が自ら学べるように工夫している。</li></ul> <p><b>&lt;地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○大きな分布図、写真資料、地図、グラフなどを提示して地理的事象を多角的に捉えて学べる工夫をしている。</li><li>○「スキルUP」コーナーでは統計資料や地図を活用するためのポイントが示され、地理的分野特有の、資料を用いた地理的事象に対する見方や考え方の基礎が学べるようにしている。</li></ul> <p><b>&lt;我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○さまざまな図法の地図や写真資料を通して我が国の国土に対する認識を多角的に養う工夫をしている。</li><li>○当該地域の地図、各種分布図、写真資料だけでなく、気候や宗教、言語などを指標として多角的に世界の諸地域に関する地理的認識を養うように構成されている。</li></ul> |  |
|   | 色<br>資<br>料  | <ul style="list-style-type: none"><li>○学習内容に関連する写真資料が各単元に多く掲載されている。さらに写真を比較して地理的事象を考察できるように配慮されている。</li><li>○地図は大きく提示することによって全体及び部分を理解できるようになっているとともに、分布図は色分けで表示され、全体を捉えやすくなっている。地図中に記号やイラストを用いて表示している。</li><li>○グラフは学習内容と関連している箇所を色で強調している。</li></ul> |
|   | 表<br>記<br>・<br>表<br>現  | <ul style="list-style-type: none"><li>○文章は「です。」「ます。」で統一されて表記されている。重要語句はゴシック体の太字で強調されて表記されている。</li><li>○図版中の配色と体裁は、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面になっている。</li><li>○見開き1ページの上部和左・右側に写真資料やグラフを配置し、中央部に本文を配置する構成ではば統一されている。</li></ul>                                 |
| 総<br>括  | <p>紙面はA B版である。「学習課題」に対する単元末「学習の確認と活用」コーナーで、基礎的基本的な内容の定着や思考力、表現力等の充実を図っている。本採択区の各市が推進している「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中接続」の観点から見ると、第1章で小学校の学習内容の振り返りや様々な作業学習を行う構成としており、円滑な中学校の地理学習のスタートを図っている。また、ページの下に「連携コーナー」が設けられている。</p>  |  |